

岡病防第11号
平成20年10月2日

各関係機関長殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予報第7号を下記のとおり発表したので送付します。

平成20年度病虫害発生予報第7号

平成20年10月2日
岡山県

予報概評

作物名	病虫害名	発生量
水稲	トビイロウンカ	やや少
ダイズ	ハスモンヨトウ	並
果樹	カメムシ類	やや多
キュウリ	褐斑病	やや多
キュウリ・ナス	ミナミキイロアザミウマ	並
アブラナ科野菜	ハクサイ白斑病 ハクサイべと病 軟腐病 黒腐病 コナガ ヨトウガ アブラムシ類 モザイク病 ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ オオタバコガ	並 並 並 やや多 やや少 並 並 並 やや少 並 やや多
キク	ナミハダニ オオタバコガ	並 やや多

1. 普通作物

(水稲)

1) トビイロウンカ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 赤磐市の予察灯における9月の飛来数は4頭で平成(15.0頭)より少なかった。

イ. 9月25～26日の巡回調査では、県南部地域の発生圃場率は22.9%で平成(11.0%)より高かったが、株当たり虫数は0.4頭で平成(1.2頭)より少なかった。

ウ. 9月26日発表の季節予報によると、10月の気温は平成より高く、降水量は平成並とされており、発生をやや助長する条件である。

(ダイズ)

1) ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. フェロモントラップにおける9月の誘殺数は、赤磐市では1,988頭で平成(2,425頭)並、津山市では604頭で平成(1,755頭)より少なかった。

イ. 9月4～5日の巡回調査における白化葉(被害葉)の発生圃場率は34.0%であり、平成(37.3%)並であった。

ウ. 9月26日発表の季節予報によると、10月の気温は平成より高く、降水量は平成並とされており、発生をやや助長する条件である。

2. 果樹(全般)

1) カメムシ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 津山市の予察灯における9月の誘殺数は、チャバネアオカメムシが49頭で平成(88.8頭)より少なく、クサギカメムシが2頭で平成(10.3頭)より少なかった。

赤磐市の予察灯における9月の誘殺数は、チャバネアオカメムシが224頭で平成(90.7頭)より多く、クサギカメムシが6頭で平成(2.6頭)よりやや多く、ツヤアオカメムシが448頭で平成(23.0頭)より多かった。

3. 野菜

(キュウリ)

1) 褐斑病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 9月29、30日の巡回調査によると、一般圃場での発生量は平成並であった。

イ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平成より高く、降水量は平成並とされており、発病をやや助長する条件である。

(キュウリ、ナス)

1) ミナミキイロアザミウマ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 9月29、30日の巡回調査によると、一般圃場での発生量は平年並であった。

(アブラナ科野菜)

1) ハクサイ白斑病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 9月29、30日、10月1日の巡回調査によると、一般圃場での発生量は平年並であった。

イ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年並みとされており、発病を助長する条件ではない。

2) ハクサイべと病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 9月29、30日、10月1日の巡回調査によると、一般圃場での発生量は平年並であった。

イ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年並みとされており、発病を助長する条件ではない。

3) 軟腐病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 9月29、30日、10月1日の巡回調査によると、一般圃場における発生量はやや少なかった。

イ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年並みとされており、発病をやや助長する条件である。

防除上の参考事項

ア. ハクサイなどでは、軟腐病菌はピシウム腐敗病罹病株に二次的に寄生して、被害を助長している可能性が高く、ピシウム腐敗病を防除すれば軟腐病の発生が抑制できるものと考えられる。なお、ハクサイピシウム腐敗病は降水量が多いと発病が助長される。

4) 黒腐病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 9月29、30日、10月1日の巡回調査によると、一般圃場における発生量は平年並であった。

イ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年並みと

されており、発病をやや助長する条件である。

5) コナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. フェロモントラップにおける9月の誘殺数は、赤磐市では0頭で平成(2.8頭)より少なく、津山市でも0頭で平成(3.0頭)より少なかった。

イ. 9月29、30日の巡回調査によると、一般圃場での発生量は平成よりやや少なかった。

6) ヨトウガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 9月29、30日の巡回調査によると、一部で多発圃場が見られたが、ほとんどの圃場での発生量は平成並であった。

7) アブラムシ類とアブラムシ伝搬性モザイク病

予報内容

発生量 アブラムシ類 並
モザイク病 並

予報の根拠

ア. 黄色水盤における9月の飛来数は、赤磐市では708頭で平成(375.4頭)より多かったが、9月下旬の飛来数は急激に減少した。津山市では559頭で平成(531.6頭)並であった。

イ. 9月29、30日の巡回調査によると、一般圃場でのアブラムシ類は平成よりやや少なく、モザイク病の発生量は平成並であった。

8) ハスモンヨトウ

予報内容 やや少

予報の根拠

ア. フェロモントラップにおける9月の誘殺数は、赤磐市では1,988頭で平成(2,425頭)並、津山市では604頭で平成(1,755頭)より少なかった。

イ. 9月29、30日の巡回調査によると、一般圃場での発生量は全般には平成よりやや少なかった。

ウ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平成より高く、降水量は平成並みとされており、発生をやや助長する条件である。

9) ハイマダラノメイガ

予報内容 並

予報の根拠

ア. 9月29、30日の巡回調査によると、一般圃場における発生量は平成よりやや少なかった。

イ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平成より高く、降水量は平成並みとされており、発生をやや助長する条件である。

10) オオタバコガ

予報内容 やや多

予報の根拠

- ア. 9月29、30日の巡回調査によると、一般圃場における発生量は平年並であった。
- イ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年並みとされており、発生をやや助長する条件である。

4. キク

1) ナミハダニ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- ア. 9月29、30日の巡回調査によると、一般圃場における発生量は平年よりやや少なかった。
- イ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年並みとされており、発生をやや助長する条件である。

2) オオタバコガ

予報内容

やや多

予報の根拠

- ア. 9月29、30日の巡回調査によると、一般圃場における発生量は平年よりやや多かった。
- イ. 9月26日の季節予報によると、10月の気温は平年より高く、降水量は平年並みとされており、発生をやや助長する条件である。

病虫害発生予察情報テレホンサービス

岡山県病虫害防除所では、主要病虫害の発生状況や防除に関する情報を迅速にお知らせするために、テレホンサービスを実施しております。気軽にご利用ください。

電話：086-955-2224

携帯電話用アドレスの公開

予報、注意報、警報については携帯電話用の情報（簡易版）を公開しています。

アドレスは

<http://www.pref.okayama.jp/norin/nousou/kei/top.htm>



QRコード